



2021年10月29日

各位

会社名 株式会社ツムラ  
 代表者名 代表取締役社長 CEO 加藤 照和  
 (コード番号：4540 東証第一部)  
 問合せ先 コーポレート・コミュニケーション室長 犬飼 律子  
 電話 TEL 03-6361-7100

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年5月11日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2022年3月期第2四半期(累計) (2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	59,400	8,700	9,000	6,900	90.19
今回修正予想 (B)	63,400	11,600	13,400	9,900	129.40
増減額 (B-A)	4,000	2,900	4,400	3,000	
増減率 (%)	6.7%	33.3%	48.9%	43.5%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	56,952	10,920	10,909	8,002	104.59

#### 2. 2022年3月期通期 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	122,500	19,500	20,000	14,200	185.60
今回修正予想 (B)	127,500	21,100	23,400	16,600	216.97
増減額 (B-A)	5,000	1,600	3,400	2,400	
増減率 (%)	4.1%	8.2%	17.0%	16.9%	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	116,413	19,382	20,866	15,332	200.40

### 3. 修正の理由

2022年3月期第2四半期連結累計期間につきましては、国内医療用医薬品事業において、医療ニーズに応じた情報提供活動を推進し、育薬処方※1、Growing処方※2に加え、幅広い処方が当初計画を上回って推移した結果、前回発表予想数値を上回る見込みとなりました。中国事業においても原料生薬、飲片等の販売が堅調に推移したことにより当初計画を上回る見込みとなりました。

連結売上高につきましては、当初計画を4,000百万円上回り、63,400百万円となる見込みであります。

各利益につきましては、増収による増益効果に加え、販売費及び一般管理費における研究開発費等の下期への繰り越し・活動の変化に伴う経費の減少等により、前回発表予想数値を上回る見込みとなりました。

その結果、営業利益は当初計画を2,900百万円上回る11,600百万円、経常利益は4,400百万円上回る13,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3,000百万円上回る9,900百万円となる見込みであります。

通期の連結業績予想につきましても、国内医療用医薬品事業においてはe-プロモーション等による情報提供活動を強化していくことで、また、中国事業においても原料生薬、飲片等を中心に引き続き販売が堅調に推移すると見込まれ、売上高の伸長が続くものと想定しております。

連結売上高につきましては、当初計画を5,000百万円上回り、127,500百万円となる見通しであります。

各利益につきましては、販売費及び一般管理費において、漢方市場のさらなる拡大につながる施策への配分の実施等、投資額が増加するものの、前回発表予想数値を上回る見込みとなりました。

その結果、営業利益は当初計画を1,600百万円上回る21,100百万円、経常利益は3,400百万円上回る23,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2,400百万円上回る16,600百万円となる見込みであります。

#### ※1 育薬処方：

近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス（科学的根拠）を確立する処方

#### ※2 Growing処方：

育薬処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築（安全性・有効性データ等）により診療ガイドライン掲載を目指す処方

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、新型コロナウイルスの更なる感染拡大による社会経済活動への影響など、現時点で予測できないリスクによる影響は考慮しておりません。実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。状況に変化が発生した場合は随時・適切な開示を実施いたします。

以上